

平成23年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

整理番号 7 - 3 - 12

事務事業名	市総合グラウンド管理費				担当課係	スポーツ振興課
総合計画上の位置付け	大項目	5. 「日（いとなみ）が輝く」			記入担当者	
	中項目	①伝統・文化の継承・発展とスポーツの振興			内線等	
	小項目	3. 生涯スポーツの推進			E-mail	
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）				事業区分	経常事業
事業予算費目	款	10	教育費	項	7	保健体育費
	目	3	体育施設費	事業	1	市総合グラウンド管理費
開始年度	昭和 28	年度	根拠法令・要綱等	小松島市総合グラウンド使用条例		

■事務事業の概要（実施内容）

事業の対象	（誰の、何のために事業を実施するのか） 市民
事業の目的 （意図）	（事業実施によってどういう状態にしたいのか） 小松島市総合グラウンドの安全で円滑な運営に寄与する。
事業の内容 （内容・手法等）	（どういった仕事の内容で、どのような手法・手順で実施しているか） グラウンド管理の委託，地権者に対する借地料を支払う。
事業の背景 （経緯等）	（事業開始の背景やこれまでの経緯） 昭和28年度より市民の体位向上と健康で文化的な生活の向上に寄与するため，小松島市総合グラウンドを設置し野球場及びテニスコートを運営する。

■事務事業の業績・推移（目標・実績）

成果指標	指標名		指標の説明				指標化できない成果 施設の設備や広さなどに対する利用者の満足度
	施設利用件数	施設利用件数					
	単位	H22	H23	H24	H25	将来目標 （年度：平成）	
件	目標	670	736	604	604		
	実績	736	604				
	達成度	109.9%	82.0%				

活動実績・参考となる指標	指標名	単位		H22	H23	H24	H25	指標の説明	
	市営グラウンド利用件数	件	計画		258	252	222	222	
			実績		252	222			
市営テニスコート利用件数	件	計画		412	484	382	382		
		実績		484	382				
		計画							
		実績							
		計画							
		計画							
		実績							

■事務事業に係るコストの業績（目標・実績）

（単位：円）

全体コスト（円）	関連事業費	22年度決算		23年度決算		24年度決算		23年度予算	
		A	直接事業費	39,873,774	39,379,407	0	40,230,000		
財源内訳	A	国県支出金							
		地方債							
		利用者負担	714,735	759,040					
		一般財源	39,159,039	38,620,367					
		B	人件費 ①×②	664,700	848,200	0			
A + B	B	職員平均人件費①	9,947,000	8,482,000					
		従事した割合② 人	0.1	0.1					
		合計	40,538,474	40,227,607	0				
単位コスト	活動指標の説明		施設利用件数 736件	施設利用件数 604件			備考		
	活動指標1単位当たりコスト		55,079	66,602			平成22年4月1日現在 人口41,507人		
	市民一人あたりのコスト		977	976			平成23年4月1日現在 人口41,204人		

■事業を取り巻く環境

国・県・他団体の動向や環境変化と今後の予測	(社会状況、法改正、規制緩和、周辺の状況等や今後の予測) 市の関係課と情報共有、連携を図り用地移管を含めた協議・検討が必要である。
事業に対する住民の意見	(意識調査・議会質疑等、事業に対する期待・要望・苦情など) 現在も多くの市民の利用が図られているが、特にテニスコートに関しては、市の施設では唯一の施設であり、存続を望まれている。しかし、老朽化及び潮風等により施設の傷みが深刻化してきている。また市総合グラウンドの敷地は、将来的には市有地の部分も含めて徳島県へ移管することに関して、地権者の了承を得ており、県も今までの経緯や市の要望もあるため、市関係各課とも連携し、引き続き県と協議を続けていきたいと考えている。

■項目別評価・今後の課題

評価項目	評価結果 (該当にチェック)	判断理由・評価コメント (具体的に記入すること)
必要性 (市民ニーズ)	<input type="radio"/> ① 必要性が高い	総合体育施設として市民や近隣市町村から多くの施設利用が図られている。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば必要性がある	
	<input type="radio"/> ③ 必要性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必要性がない	
妥当性 (市で行わなければならないか)	<input type="radio"/> ① 市が行わないといけない	市総合グラウンドであり小松島市体育協会に管理を委託し運営している。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば市で実施	
	<input type="radio"/> ③ 必然性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必然性がない	
効率性 (事業の手法は効率よいが、コスト削減の余地はないか)	<input type="radio"/> ① 効率的である	スポーツ施設に専門知識を持つ市体育協会に管理を委託しており施設設備の運営維持に効果がある。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば効率的	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば非効率的	
	<input type="radio"/> ④ 非効率的	
緊急性 (他事業に優先し、実施する必要はあるか)	<input type="radio"/> ① 緊急性が高い	施設や整備に必要な器具の老朽化が進んでいる。利用者の安全で快適な使用を考え、早急な改善が必要である。
	<input type="radio"/> ② 比較的緊急性がある	
	<input type="radio"/> ③ 緊急性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 緊急性はない	
成果 (目的の達成状況)	<input type="radio"/> ① 成果が上がっている	市民の体位向上及びスポーツを通じて心身の健全な育成が図られている。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば上がっている	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば上がっていない	
	<input type="radio"/> ④ 成果は上がっていない	
今後の課題	落下等の危険のある照明施設を撤去したため、ナイター照明の照度が不足している。また撤去していない照明施設の漏電等の不具合も見つかっており、大幅な改修費用が見込まれる。また借地料の問題についても、移管に向けて検討する必要がある。	

■一次評価 (評価点は目安とし、総合的な評価をすること)

評価	事務事業の方向性	評価点による判定		判断に至った理由
		評価点	判定	
2	1 拡 充 す る	80 点 以上	2	市総合グラウンドは、昭和28年開設以来、半世紀以上にわたり、本市のスポーツの拠点、憩いの場として、市民の健康づくりをはじめとする様々な方面で今日まで大きな役割を果たしている。一方で施設が古く、ナイター設備も老朽化しており落下の危険性のある照明器具は撤去している。また借地料の問題が大きな財政負担となっており、県への移管も含め市関係各課と協議する必要がある。
	2 現状のまま継続する	60 ~ 79 点		
	3 改善・効率化し継続	50 ~ 59 点		
	4 見直しの上縮小する	40 ~ 49 点		
	5 終期設定し終了	30 ~ 39 点		
	6 休 止	20 ~ 29 点		
	7 廃 止	19 点 以下		

■改善・効率化・見直しの方向性 ※一次評価の判定が3・4の時は、必ず記入すること。

【具体的な改善等取組内容 (方向性・対象・手段等について記述)】

■二次評価 (所管担当の一次評価を、総合評価し判定すること)

評価	事務事業の方向性	判定説明
3	1 拡 充 す る	市営グラウンド用地が徳島東部都市計画公園、日峯大神子広域公園の区域内にあることから、防災公園としての活用も含め、関係機関と情報共有、連携を図り用地移管を含めた協議・検討が必要である。また地権者との話し合いの場を設け、現在の進捗状況及び借地料等について理解、協力を求める。
	2 現状のまま継続する	
	3 改善・効率化し継続	
	4 見直しの上縮小する	
	5 終期設定し終了	
	6 休 止	
	7 廃 止	